

9:25~9:30

開会の辞

小田嶋 博

国立病院機構福岡病院

9:30~11:00

シンポジウム 1

「アジアにおける喘息の動向」

座長：西間 三馨(国立病院機構福岡病院名誉院長)

土橋 邦生(群馬大学大学院保健学研究科)

SY1-1 The current status of asthma in Asia

○Gary WK Wong

Department of Paediatrics, Prince of Wales Hospital, Chinese University of Hong Kong, Hong Kong

SY1-2 Current status of childhood asthma in South Korea

○Dae Hyun Lim^{1,2)}

¹⁾Department of Pediatrics, School of Medicine, Inha University, Incheon, South Korea,

²⁾Environmental Health Center of Allergic Disease, Inha University Hospital, Ministry of Environment, South Korea

SY1-3 日本人成人喘息の疫学成績

○谷口 正実、福富 友馬、関谷 潔史、粒来 崇博、秋山 一男

国立病院機構相模原病院臨床研究センター

SY1-4 日本の小児喘息疫学調査

○吉田 幸一

東京都立小児総合医療センターアレルギー科

11:05~12:05

特別講演 1

座長：大田 健(国立病院機構東京病院)

AIT-Allergen Immunotherapy in Asthma: update 2016

○Giorgio Walter Canonica

University of Genoa, IRCCS AOU San Martino-IST, Genoa, Italy

共催：鳥居薬品株式会社

12:15~13:15

ランチオンセミナー 1

座長：一ノ瀬正和(東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座呼吸器内科学分野)

LS1 FeNO と抗炎症治療

○松永 和人

山口大学大学院医学系研究科呼吸器・感染症内科学講座

共催：アステラス製薬株式会社/アストラゼネカ株式会社

13:20~13:35

総会

14 : 45~15 : 45

特別講演 2

座長：中島 重徳(近畿大学医学部奈良病院呼吸器アレルギー内科)

気道上皮の喘息病態における役割とその治療戦略

○紀太 博仁

メイヨークリニック免疫アレルギー学科

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

15 : 50~16 : 50

招請講演

座長：興梠 博次(熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学分野)

NEW BIOTECH APPROACHES TO ASTHMA TREATMENT

○Giorgio Walter Canonica

University of Genoa, IRCCS AOU San Martino-IST, Genoa, Italy

17 : 00~18 : 00

イブニングセミナー

座長：宮本 昭正(日本臨床アレルギー研究所)

ES Update on virus-induced asthma

○Marco Contoli

Chest Physician Section of Respiratory Diseases

Department of Medical Sciences University of Ferrara - Italy

共催：MSD 株式会社

第1日目：9月17日(土) 第2会場 (福岡国際会議場 5F 503)

11 : 05~11 : 45

ミニシンポジウム 1

「気管支拡張薬」

座長：佐野 靖之(佐野虎ノ門クリニック・東京アレルギー喘息研究所)

中村 陽一(横浜市立みなと赤十字病院アレルギーセンター)

MS1-1 既治療気管支喘息患者の SABA と SAMA の気道可逆性に関する検討

○廣瀬 正裕、出口亜里紗、横井 達佳、横井 紘輝、吉田 隆純、山崎 明子、
瀧田好一郎、加藤 圭介、桑原 和伸、伴 直昭、志賀 守、近藤りえ子、
堀口 高彦

藤田保健衛生大学医学部呼吸器内科II講座

MS1-2 既治療気管支喘息患者の治療薬剤別の SABA と SAMA の気道反応性に関する検討

○吉田 隆純、廣瀬 正裕、出口亜里紗、横井 達佳、堀口 紘輝、山崎 明子、
瀧田好一郎、加藤 圭介、桑原 和伸、伴 直昭、志賀 守、近藤りえ子、
堀口 高彦

藤田保健衛生大学医学部呼吸器内科学II講座

MS1-3 当センターにおける成人気管支喘息患者のチオトロピウム使用状況

○小松崎恵子¹⁾、中村 陽一¹⁾、橋場 容子¹⁾、遠藤 順治¹⁾、古家 正¹⁾、
磯崎 淳¹⁾、河崎 勉²⁾、稲瀬 直彦³⁾、相良 博典⁴⁾、足立 満⁵⁾

¹⁾横浜市立みなと赤十字病院アレルギー科、²⁾横浜市立みなと赤十字病院呼吸器内科、

³⁾東京医科歯科大学呼吸器内科、⁴⁾昭和大学呼吸器・アレルギー内科、⁵⁾国際医療福祉大学臨床医学教育センター

MS1-4 喫煙および非喫煙気管支喘息患者におけるチオトロピウムの効果

○吉田 誠¹⁾、金子 靖子²⁾、岩永 知秋¹⁾、井上 博雅³⁾

¹⁾国立病院機構福岡病院呼吸器科、²⁾西福岡病院呼吸器内科、³⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学

14 : 45~15 : 45

ミニシンポジウム 2

「アレルギー・誘因」

座長：浅井 貞宏(サン・レモリハビリ病院)

久田 剛志(群馬大学大学院医学系研究科病態制御内科学呼吸器・アレルギー内科)

MS2-1 気管支喘息、アレルギー疾患におけるガ抗原の感作率

○出口 秀治、岸川 禮子、吉田 誠、下田 照文、岩永 知秋

国立病院機構福岡病院

MS2-2 釜山地域学童期小児のアレルギー有病率と抗原感作

○黄 潤下¹⁾、金 性源¹⁾、成 明順²⁾、林 大鉉³⁾

¹⁾釜山聖母病院小児科、²⁾亀尾車医科大学病院小児科、³⁾仁荷大学病院小児科

MS2-3 家塵ダニは PAR2 を介して好酸球を直接的に活性化する

○植田 穰^{1,2)}、小林 威仁^{2,3)}、野口 哲³⁾、柚 知行^{2,4)}、中込 一之^{2,3)}、
徳山 研一^{1,2)}、永田 真^{2,4)}

¹⁾埼玉医科大学病院小児科、²⁾埼玉医科大学病院アレルギーセンター、³⁾埼玉医科大学病院総合診療内科、
⁴⁾埼玉医科大学病院呼吸器内科

MS2-4 イブプロフェンにて喘息様症状を来した女児例

○緒方 美佳、水上 智之、高木 一孝

国立病院機構熊本医療センター小児科

MS2-5 中年成人における喘息発症危険因子としての胃酸分泌抑制剤の内服

○福富 友馬¹⁾、畦川 和弘²⁾、下田 照文³⁾、岡田 千春⁴⁾、中村 陽一⁵⁾、谷口 正実¹⁾

¹⁾国立病院機構相模原病院臨床研究センター、²⁾株式会社エム・エイチ・アイ、
³⁾国立病院機構福岡病院臨床研究部、⁴⁾国立病院機構本部医療部、
⁵⁾横浜市立みなと赤十字病院アレルギーセンター

MS2-6 胃食道逆流症と運動誘発喘息の関連

○岡部 公樹、植松 浩司、川野 聖明、若槻 雅敏、二宮 崇仁、岡本 友樹、
小野倫太郎、日高 智子、岩田実穂子、田場 直彦、村上 洋子、本荘 哲、
本村知華子、柴田瑠美子、小田嶋 博

国立病院機構福岡病院

第 1 日目：9 月 17 日(土) ポスター会場 (福岡国際会議場 5F 502)

13 : 40~14 : 15

ポスター 1

「病態」

座長：石塚 全(福井大学病態制御医学講座内科学 (3))

矢寺 和博(産業医科大学医学部呼吸器内科学)

P-1 気管支喘息における末梢血中 innate lymphoid cells の解析

○石森 絢子¹⁾、原田 紀宏¹⁾、原田 園子¹⁾、松野 圭¹⁾、浅地 美奈¹⁾、
竹重 智仁¹⁾、中村 愛¹⁾、笹野 仁史¹⁾、田辺 悠記¹⁾、伊藤 潤¹⁾、熱田 了¹⁾、
千葉 麻子²⁾、出原 賢治³⁾、三宅 幸子²⁾、高橋 和久¹⁾

¹⁾順天堂大学医学部呼吸器内科、²⁾順天堂大学医学部免疫学講座、³⁾佐賀大学医学部分子生命科学講座

- P-2** **Circulating monocyte 由来 IL-33 は HDM 誘導性気道炎症に寄与する**
○田代 宏樹¹⁾、高橋浩一郎¹⁾、加藤 剛²⁾、林 真一郎³⁾、木村 晋也¹⁾、荒金 尚子¹⁾
¹⁾佐賀大学医学部内科学講座血液・呼吸器・腫瘍内科、²⁾佐賀県医療センター好生館、
³⁾医療法人社団高邦会高木病院
- P-3** **NOS 完全欠損マウスを用いたマウス喘息モデルにおける NO の気道好酸球性炎症における役割**
○赤田憲太郎¹⁾、筒井 正人²⁾、王 克鏞³⁾、内藤 圭祐¹⁾、生越 貴明¹⁾、
野口 真吾¹⁾、川波 敏則¹⁾、城戸 貴志¹⁾、豊平由美子⁴⁾、柳原 延章⁴⁾、下川 宏明⁵⁾、
迎 寛⁶⁾、矢寺 和博¹⁾
¹⁾産業医科大学呼吸器内科学、²⁾琉球大学大学院医学研究科薬理学、³⁾産業医科大学共同利用研究センター、
⁴⁾産業医科大学薬理学、⁵⁾東北大学循環器内科、
⁶⁾長崎大学大学院医歯薬学総合研究科展開医療科学講座呼吸器内科学分野
- P-4** **STING によるヒト気道上皮細胞からの MUC5AC 産生誘導機構の解明**
○滝沢 琢己、相澤 明、太田 匡哉、西田 豊、佐藤幸一郎、八木 久子、
荒川 浩一
群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野
- P-5** **CREB regulates TNF- α -induced GM-CSF secretion via p38 MAPK in human lung fibroblasts**
○古賀 康彦¹⁾、久田 剛志¹⁾、石塚 全²⁾、宇津木光克³⁾、小野 昭浩¹⁾、
矢富 正清¹⁾、上出 庸介^{1,4)}、齋藤-青木悠¹⁾、鶴巻 寛朗¹⁾、土橋 邦生⁵⁾、山田 正信¹⁾
¹⁾群馬大学病態制御内科学呼吸器・アレルギー内科、²⁾福井大学病態制御医学講座内科学 (3)、
³⁾桐生厚生病院呼吸器内科、⁴⁾国立病院機構相模原病院アレルギー科、⁵⁾群馬大学保健衛生学科

14 : 15~14 : 36

ポスター 2

「治療法の検討」

座長：下田 照文(国立病院機構福岡病院臨床研究部)

- P-6** **スギ花粉症合併ダニアレルギー性喘息に対する純化ダニ・スギアレルゲンを用いた急速同時免疫療法の検討**
○内田 貴裕^{1,2)}、内田 義孝^{1,2)}、中込 一之^{1,2)}、柚 知行^{1,2)}、永田 真^{1,2)}
¹⁾埼玉医科大学病院呼吸器内科、²⁾埼玉医科大学病院アレルギーセンター
- P-7** **重症喘息治療薬オマリズマブの接種方法についての検討**
○渡邊 直人^{1,2)}、黨 康夫²⁾、牧野 莊平¹⁾
¹⁾東京アレルギー・呼吸器疾患研究所、²⁾同愛記念病院アレルギー呼吸器科
- P-8** **ブロンコサーモプラスティの治療評価と今後の課題**
○小野 昭浩、久田 剛志、古賀 康彦、蜂巢 克昌、鶴巻 寛朗、矢富 正清、
土橋 邦生
群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科

「抗 IgE 抗体製剤」

座長：在津 正文(国立病院機構嬉野医療センター小児科)

- P-9 離島の病院と連携することでオマリズマブを開始できた難治喘息の一例
○植松 浩司、岡部 公樹、岡本 友樹、二宮 崇仁、日高 智子、川野 聖明、若槻 雅敏、小野倫太郎、岩田実穂子、赤峰 裕子、田場 直彦、本荘 哲、本村知華子
国立病院機構福岡病院
- P-10 難治性喘息小児例の Omalizumab 投与中止後の経過
○碓 航太¹⁾、増本 夏子¹⁾、松崎 寛司¹⁾、中山 秀樹¹⁾、手塚純一郎^{1,2)}、スビヤントケイジ¹⁾
¹⁾国立病院機構福岡東医療センター小児科、²⁾福岡市立こども病院アレルギー・呼吸器科
- P-11 オマリズマブが小児気管支喘息患者の肺機能・気道過敏性・呼気 NO 濃度に与える影響についての検討
○手塚純一郎
福岡市立こども病院アレルギー・呼吸器科
- P-12 重症喘息児に対するオマリズマブ治療の検討
○岡本 友樹、本村知華子、植松 浩司、岡部 公樹、川野 聖明、若槻 雅敏、二宮 崇仁、小野倫太郎、日高 智子、岩田実穂子、田場 直彦、本荘 哲、小田嶋 博
国立病院機構福岡病院

「合併症・管理」

座長：村木 正人(近畿大学医学部奈良病院呼吸器・アレルギー内科)

- P-13 当院で過去 6 年間に経験した縦隔気腫 16 例の検討
○日高 智子、岡部 公樹、植松 浩司、川野 聖明、二宮 崇仁、若槻 雅敏、岡本 友樹、小野倫太郎、岩田実穂子、本荘 哲、本村知華子、小田嶋 博
国立病院機構福岡病院小児科
- P-14 気管支喘息児をもつ母親に PEF 測定と喘息日記を奨励する看護介入による影響
○細野 恵子
旭川大学保健福祉学部保健看護学科
- P-15 成人喘息における過体重、肥満の全身性好酸球性炎症に対する性特異的影響
○今岡 通巖、岸川 禮子、下田 照文、岩永 知秋
独立行政法人国立病院機構福岡病院
- P-16 成人アトピー性喘息における過体重、肥満の血清総 IgE 値に対する性特異的影響
○今岡 通巖、岸川 禮子、下田 照文、岩永 知秋
独立行政法人国立病院機構福岡病院

9:00~10:00

特別講演 3

座長：福田 健(獨協医科大学)

“Patient-centered” にみた気管支喘息の包括的管理

○永田 真^{1,2)}

¹⁾埼玉医科大学呼吸器内科、²⁾埼玉医科大学アレルギーセンター

10:05~11:05

特別講演 4

「喘息ガイドライン Up to date」

座長：岩永 知秋(国立病院機構福岡病院)

長時間作用性抗コリン薬の作用機序と本邦ガイドラインでの位置づけ

○松本 久子

京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学

国際指針 GINA up to date

○井上 博雅

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

11:10~12:10

教育講演 1

座長：眞野 健次(帝京科学大学)

喘息と心(喘息と心身医学的側面)

○村松 芳幸

新潟大学医学部保健学科

12:20~13:20

ランチオンセミナー 2

座長：井上 博雅(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学)

LS2 The role of biomarkers in aiding therapy for severe asthma

○Andrew Greening

Global Medical Expert, Global Respiratory Franchise, GlaxoSmithKline plc., UK

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

14:35~15:20

教育講演 2

座長：近藤 直実(平成医療短期大学/岐阜大学名誉教授)

小児気管支喘息の発症機序はどこまで分かってきたのか

○松本 健治

国立成育医療研究センター研究所免疫アレルギー・感染研究部

共催：中外製薬株式会社

15:25~16:10

教育講演 3

座長：東田 有智(近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科)

喘息治療薬の現状と今後の展望

○相良 博典

昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門

16:15~17:00

教育講演 4

座長：浜崎 雄平(佐賀整肢学園からつ医療福祉センター小児科)

喘息長期管理におけるステロイド間欠吸入の可能性

○勝沼 俊雄

東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科

17:00~17:05

閉会の辞

小田嶋 博

国立病院機構福岡病院

第2日目：9月18日(日) 第2会場 (福岡国際会議場 5F 503)

8:30~10:00

共催シンポジウム

「今、患者に求められる患者教育とは」

座長：及川 郁子(東京家政大学)

小田嶋 博(国立病院機構福岡病院)

CS1 学会による取り組み 小児アレルギーエデュケーター制度

○益子 育代

都立小児総合医療センター看護部

CS2 地域連携の視点から一包括的呼吸リハビリテーションをめざした取り組み

○堀江 健夫¹⁾、土橋 邦生²⁾

¹⁾前橋赤十字病院呼吸器内科、²⁾群馬大学大学院保健学研究科

CS3 行政機関から

○新平 鎮博

国立特別支援教育総合研究所

CS4 高等学校におけるアレルギーに関する保健指導方法の確立について

○井口 葉子

福岡県立修猷館高等学校養護教諭

CS5 患児の立場にたった看護

○金子 恵美

国立病院機構福岡病院

共催：環境再生保全機構

10:05~11:05

シンポジウム 2

「喘息病態 up-to-date」

座長：宇理須厚雄(うりすクリニック・尾張東部アレルギー研究所)

庄司 俊輔(国立病院機構東京病院)

SY2-1 小児の立場から

○大嶋 勇成

福井大学医学研究部門医学領域小児科学

SY2-2 成人の立場から：The Small Airways Asthma Phenotype—新たな喘息フェノタイプの可能性—

○新実 彰男

名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学

11:10~12:10

シンポジウム 3

「喘息診療に活かす検査」

座長：中川 武正(白浜町国民健康保険直営川添診療所)

徳山 研一(埼玉医科大学小児科)

SY3-1 小児喘息の診療に活かす検査

○荒川 浩一

群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野

SY3-2 成人の立場から

○山口 正雄

帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学

14:35~16:05

シンポジウム 4

「最適な喘息コントロール指標」

座長：石井 芳樹(獨協医科大学呼吸器・アレルギー内科)

吉原 重美(獨協医科大学小児科)

SY4-1 小児喘息における最適なコントロール指標

○足立 雄一

富山大学大学院医学薬学研究部小児発達医学

SY4-2 喘息治療における吸入指導の重要性

○堀口 高彦

藤田保健衛生大学医学部呼吸器内科学II講座

SY4-3 高齢者喘息のコントロール指標

○岩永 賢司、佐野 博幸、東田 有智

近畿大学医学部内科学呼吸器・アレルギー内科部門

「PM2.5, 喫煙」

座長：保澤総一郎(広島アレルギー呼吸器クリニック)
松元幸一郎(九州大学大学院医学研究院胸部疾患研究施設)

P-17 小児における微小粒子状物質 (PM2.5) のピークフロー値と呼吸器症状への影響

○蓮沼 英樹¹⁾、山崎 新²⁾、田村 憲治²⁾、黄 潤下³⁾、小野倫太郎⁴⁾、
網本 裕子⁵⁾、小田嶋 博⁴⁾

¹⁾環境情報科学センター、²⁾国立環境研究所、³⁾釜山聖母病院、⁴⁾国立病院機構福岡病院、⁵⁾広島市立安佐市民病院

P-18 PM2.5 と若年者の気管支ぜん息入院：感受性要因の探索

○上田 佳代¹⁾、大石 瑞貴¹⁾、小田嶋 博²⁾、タスミンサイラ¹⁾、ブンベラリンファイ¹⁾、
安河内秀輔¹⁾、上原 大和¹⁾、本田 晶子¹⁾、高野 裕久¹⁾

¹⁾京都大学大学院工学研究科、²⁾福岡病院

P-19 若年発症喘息患者における短期喫煙が呼吸機能および気道過敏性に及ぼす影響

○渡井健太郎、関谷 潔史、中村 祐人、濱田 祐斗、富田 康裕、三井 千尋、
林 浩昭、上出 庸介、福富 友馬、粒来 崇博、森 晶夫、谷口 正実

国立病院機構相模原病院臨床研究センター

P-20 Aspirin-exacerbated respiratory disease 発症と禁煙は関連する

○林 浩昭、福富 友馬、三井 千尋、中村 祐人、濱田 祐斗、渡井健太郎、
富田 康裕、上出 庸介、関谷 潔史、粒来 崇博、森 晶夫、谷口 正実

国立病院機構相模原病院臨床研究センター

「吸入ステロイド」

座長：吉田 誠(国立病院機構福岡病院内科)

P-21 乳幼児喘息に対する SFC の有用性と安全性

○福田 啓伸^{1,7)}、吉原 重美^{1,7)}、中山 元子^{1,7)}、有阪 治^{1,7)}、池田 政憲^{2,7)}、
福田 典正^{3,7)}、辻 徹郎^{4,7)}、長谷川俊史^{5,7)}、菅野 訓子^{6,7)}

¹⁾獨協医科大学小児科、²⁾岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児急性疾患学、³⁾グリムこどもクリニック、

⁴⁾JA広島総合病院小児科、⁵⁾山口大学小児科学分野、⁶⁾西方病院小児科、⁷⁾乳幼児SFC研究グループ

P-22 気管支喘息における吸入ステロイドの血清ペリオスチンに及ぼす影響

○星野 誠¹⁾、大多和純一²⁾、秋津 健太²⁾

¹⁾国際医療福祉大学熱海病院アレルギー内科、²⁾国際医療福祉大学熱海病院放射線科

P-23 ペリオスチンは好酸球のエフェクター機能を誘導する

○中込 一之^{1,2)}、野口 哲^{1,2,3)}、小林 威仁^{1,2,3)}、内田 義孝^{1,2)}、柚 知行^{1,2)}、
永田 真^{1,2)}

¹⁾埼玉医科大学呼吸器内科、²⁾埼玉医科大学アレルギーセンター、³⁾埼玉医科大学総合診療内科

「日常管理」

座長：粒来 崇博(国立病院機構相模原病院アレルギー科)

本村知華子(国立病院機構福岡病院小児科)

- P-24** **ロイコトリエン受容体拮抗薬内服と運動誘発喘息：2304名の3-6歳児における検討**
○本庄 哲¹⁾、村上 洋子¹⁾、小田嶋 博¹⁾、足立 雄一²⁾、吉田 幸一³⁾、
大矢 幸弘⁴⁾、赤澤 晃³⁾
¹⁾国立病院機構福岡病院小児科、²⁾富山大学医学部小児科、³⁾東京都立小児総合医療センターアレルギー科、
⁴⁾国立成育医療研究センターアレルギー科
- P-25** **喘息大発作入院症例におけるその後の通院状況に関する検討**
○関谷 潔史、渡井健太郎、中村 祐人、濱田 祐斗、富田 康裕、三井 千尋、
林 浩昭、上出 庸介、福富 友馬、粒来 崇博、森 晶夫、谷口 正実
国立病院機構相模原病院臨床研究センター
- P-26** **高齢者喘息における身体活動量と呼吸機能、服薬アドヒアランス障壁との関連性**
○岩永 賢司、白波瀬 賢、御勢 久也、中西 雄也、佐伯 翔、花田宗一郎、
山崎 亮、綿谷奈々瀬、佐野安希子、西山 理、山縣 俊之、佐野 博幸、
東本 有司、久米 裕昭、東田 有智
近畿大学医学部内科学呼吸器・アレルギー内科部門
- P-27** **当院における喘息術前コンサルト症例の検討**
○中村 和芳、廣佐古 進、堀尾 雄甲、藤井 一彦、興梠 博次
熊本大学医学部附属病院呼吸器内科
- P-28** **喘息患者におけるICS+LABA配合薬はpMDIかDPIか？～アドエアでの比較検討～**
○和田 翔大¹⁾、御勢 久也¹⁾、澤口博千代¹⁾、村木 正人¹⁾、花田宗一郎²⁾、東田 有智²⁾
¹⁾近畿大学医学部奈良病院呼吸器・アレルギー内科、²⁾近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科